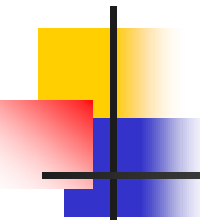




# JABank宮城の地域密着型金融の 取組状況について（平成23年度）

---

平成24年12月  
JABank宮城



---

JABANK宮城（JA,農林中央金庫仙台支店）  
では,農業と地域社会に貢献するため,平成22  
~24年度 JABANK宮城中期戦略に基づき,地  
域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成23年度の地域密着型金融の取組状況に  
ついて取りまとめましたので,ご報告いたします。



# 目次

---

**農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク宮城の農業メインバンク機能強化の取組み）**

… P.4

**担い手の経営のライフサイクルに応じた支援**

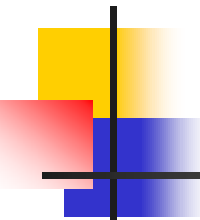
… P.11

**経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供**

… P.15

**農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献**

… P.19



---

農山漁村等地域の活性化のための  
融資を始めとする支援

(JAバンク宮城の農業メインバンク  
機能強化の取組み)

# 農業融資商品の適切な提供・開発

- JABank宮城は、各種プロパー農業資金に対応するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成24年3月末時点の JABank宮城の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は**699億円**（うち農業経営向け貸付金329億円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は**39億円**を取扱っています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JABank宮城が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

営農類型	平成24年3月末
農業	32,916
穀作	9,006
野菜・園芸	676
果樹・樹園農業	164
工芸作物	37
養豚・肉牛・酪農	1,768
養鶏・鶏卵	1,777
養蚕	1
その他農業 (注1)	19,487
農業関連団体等 (注2)	37,008
合計	69,924

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。  
 (注2) 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

### 【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成24年3月末
プロパー農業資金 (注1)	62,280
農業制度資金 (注2)	7,644
農業近代化資金	2,835
その他制度資金 (注3)	4,809
合 計	69,925

(注1)プロパー資金とは、JAバンク宮城原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク宮城が低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

(注3)その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

### 【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成24年3月末
日本政策金融公庫資金	3,878
その他	8
合 計	3,886

(注)  
JAバンク宮城では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金等の受託貸付金を取り扱っています。



## 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAVバンク宮城では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 「担い手金融リーダー」を県内14 JAに27人設置し、そのリーダーが農業金融にかかる企画推進・管理の中心となって活動しています。また、農業融資担当者等のスキルアップを目的に、平成23年度に「JAVバンク農業金融プランナー」の資格制度を立ち上げました。
- 農林中金仙台支店では、JAの支援・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能を順次、拡充、強化してまいります。





# JA内事業間連携の強化

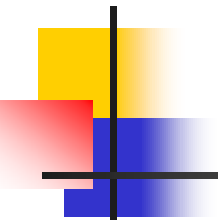
---

- JAバンクでは、農業者の多様なニーズに応じていくため、TAC(担い手専任担当)等営農・経済部門との連携を強化し、合同会議・研修会を実施し、これまで以上にJA内事業間連携を強化し、より農業者のニーズに合った金融サービスを提供できるように、努めてまいります。

# 農商工連携の推進

- JAバンク宮城では、全農宮城県本部と連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会を開催しました。

商談会名	開催日	参加団体	成果
JAグループ 宮城復興商 談会	平成24年 2月9日	セラー： 27団体 バイヤー： 47団体	商談件数： 252件 成約案件： 36件



---

# 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

# 新規就農者の支援

- JABank宮城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成23年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件,百万円

	実行件数	実行金額	平成24年3月末残高
就農支援資金	5	52	286
その他	-	-	-
合計	5	52	286

- JABankアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者（研修生）の育成を行う農家等に対して費用助成を行っています。

# 経営改善支援の取組み

JABank宮城では、農業経営負担軽減支援資金の対応等にあたり、地域において特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

## 【平成23年度の農業者の経営改善支援取組実績】

	経営改善 支援取組先 a	aのうち再生 計画策定先 b	aのうちランク アップ先 c	aのうち債務 者区分不変 先 d	事業計画 策定率 b / a	ランクアップ 率 c / a
正常先	-	-	-	-	-	-
要注意先	139	1	18	105	0.8%	12.9%
破綻懸念先	41	1	10	19	2.4%	24.4%
実質破綻先	136	24	7	113	17.6%	5.1%
破綻先	5	0	0	5	0.0%	0.0%
合計	321	26	35	242	8.1%	10.9%

(注) 経営改善支援取組先は、JA・農林中金仙台支店が再生計画の策定など、経営改善支援に取り組んだ先として指定したものをいいます。

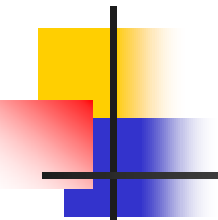
ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。



## 説明会の開催

---

- 東日本大震災で被災した農業者を支援する目的で、平成24年1月に、行政とJAグループが連携し、震災資金説明会」を実施しました。
- 県内全 JAの金融・営農部門担当者ら約50人参加し、震災資金の活用方法について学びました。



---

経営の将来性を見極める融資手法を  
始め、担い手に適した資金供給手法の  
提供

# 負債整理資金による経営支援

JABank宮城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成23年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件 ,百万円

	実行件数	実行金額	平成24年3月末残高
畜特資金	0	0	282
農業経営負担軽減支援資金	0	0	19
その他	3	28	864
合計	3	28	1,165

・畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金による借換え資金などが該当します。



# 農業法人への投資

- JAVバンク宮城では、アグリ・シードファンドや復興ファンドを通じて、農業振興や震災からの復興を行う企業に投資し、企業の成長を支援していきます。

【平成23年度投資実績】

単位 件,百万円

	件数	金額
アグリシードファンド	2	20
復興ファンド	2	35

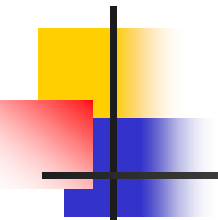
- ・アグリビジネス投資育成株式会社は、農業法人投資育成制度にかかる業務を行うため、JAグループと日本政策金融公庫の出資により設立された法人です。農業法人への出資等を通じて、その健全な成長発展を図り、もって農業の持続的な発展に寄与することを目的としています。

復興ファンドの対象は、東日本大震災の被災企業を対象とします。



# 農業融資への利子助成の実施

- 農業者に対する農機ハウスローン, アグリマイティ資金, スーパーS資金等の融資について, 農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い, 農業担い手をサポートしています。
- 平成23年度は宮城県で639件, 975万円の利子助成を行いました。



---

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献



# 東日本大震災の復旧・復興支援

- JABankでは、東日本大震災等、全国各地での災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や利子補給、利子助成等を実施、また個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しております。
- 県内JAにおいては、東日本大震災で被害を受けた農業者の復旧・復興に向けて、低利のJA独自災害資金を創設しています。また、これらのJA独自災害資金にJAグループ宮城、JABank宮城で利子補給を行い、被災農業者の負担を軽減しています。



## JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク宮城では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布を行っています。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク宮城を通じて、県内の多くの小学校に配布され、学校の授業等において活用されています。



# JA教育活動への助成

---

- また、県内のJAでは、食農教育などの実践活動が取組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。
- 平成23年度は県内23件の取組みに対して、約445万円の助成申請が行われました。